



CORPORATE REPORT 2019

2019年12月期
第1四半期決算報告

2019年1月1日



2019年3月31日

GMOINTERNET

証券コード：9449

おかげさまで ご利用1,000万件 インフラサービスの 更なる成長を目指して

代表取締役会長兼社長 グループ代表

熊谷 正寿



インターネットインフラ事業が過去最高業績を更新

GMOインターネットグループのインターネットインフラサービスは、おかげさまで3月末にご利用件数が1,000万件を突破しました。これもひとえにサービスをご利用いただくお客様のご愛顧、株主の皆様からの温かいご支援の賜物と心より感謝申し上げます。

1995年の事業開始以来、“すべての人にインターネット”をコーポレートキャッチに、インターネットの情報発信をお手伝いし、今では生活に欠かせないインフラとして、なくてはならない多様なサービスを展開しています。



当第1四半期の連結業績は、インターネットインフラ事業の好調を受け、6四半期連続でセグメント最高業績を更新する高成長が続く一方、金融事業は期初の一時的な相場変動やFX取引高の減少の影響もあり、前年同期比で増収減益となりました。

仮想通貨マイニング事業は再構築が進捗し、コストの減少により赤字幅は大幅改善となりました。

当社グループの過去23年間にわたる事業成長は、インフラサービスの継続的な提供によって築き上げてきたものと自負しています。産業界の歴史を辿れば、財閥系グループが交通・海運・鉱山といったインフラを開拓し、そこに銀行・保険等の金融分野を掛け合わせることで、国内経済の発展を支えてきました。当社グループもまた、インターネット銀行・証券等の金融サービスをインフラサービスとともに提供する強靱な掛け算により、さらなる発展を目指してまいります。

連結業績ダイジェスト (2019年1月1日▶2019年3月31日)

▼第1四半期決算のポイント

当第1四半期	
売上高	営業利益
 46,863 百万円	 5,000 百万円
(前年同期比7.2%増)	(前年同期比5.1%減)

▼セグメント別の概況 (単位百万円、カッコ内は前年同四半期比増減率)

インターネットインフラ事業	
売上高 27,489 (17.5%増)	営業利益 3,615 (39.7%増)

当四半期のポイント

- 契約件数を拡大し、1,036万顧客の岩盤収益基盤を確保
- 決済やセキュリティなど利益率の高い商材が伸び、大幅増益

インターネット広告・メディア事業	
売上高 12,076 (1.6%減)	営業利益 246 (20.8%減)

当四半期のポイント

- 広告は動画・SNSなどの新領域で大手顧客の獲得が進展
- 中小企業向け自社商材販売終了の影響が残り、減収減益

インターネット金融事業	
売上高 6,397 (21.5%減)	営業利益 1,469 (55.5%減)

当四半期のポイント

- ボラティリティ低下を受けFX取引高が減少し、減収減益
- 店頭FX・証券とも口座数を伸ばし、顧客基盤拡大を維持

仮想通貨事業	
売上高 1,294 (103.7%増)	営業利益 △229 (—)

当四半期のポイント

- 仮想通貨交換はボラティリティ低下により減収、損失計上
- 仮想通貨マイニングは減収ながら収益改善が進み赤字縮小

クローズアップサマリー

▼株主還元

四半期配当：期初方針に基づき6円の配当

当社では、配当性向33%を目途に四半期配当を実施しております。業績予想を非開示とする金融事業を含むため、本年度も連結業績予想は開示しておらず、同様に配当予想額も開示しておりません。配当額については四半期決算ごとに開示を行う予定です。

(単位：円)	1Q	2Q	3Q	4Q	配当総額
2019年	6	—	—	—	6
2018年	6	6.2	5.5	11.8	29.5

▼インターネットインフラ事業

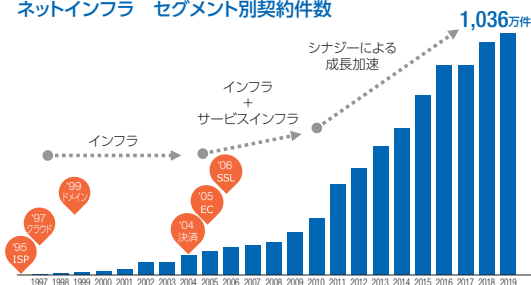
相互にシナジーを発揮し、成長を加速

1995年、プロバイダ事業から始まったインターネットインフラ事業は、クラウドホスティング、ドメインへと順次サービス提供を拡充していきました。そして2000年代には、決済、EC、SSLセキュリティの各事業を展開し、新たな成長基盤を確保しました。

これらのインフラサービスは、相互にシナジーを発揮しながら契約件数を拡大し、成長を加速してきました。現在では、インターネットインフラ事業が提供する全商材がマーケットシェアNo.1を獲得し、圧倒的な強さを誇っています。

その中でも創業時から手掛けてきたアクセス(プロバイダ事業)は、近年目覚ましい成長を続けており、2018年度は光回線純増数の55%を占めるまでになりました。またEC支援事業は、ショッピングカートの提供によるストックビジネスや、オンラインハンドメイドマーケット「minne」による流通課金など、収益モデルの多様化によって高成長を実現しています。

ネットインフラ セグメント別契約件数



株主総会レポート

2019年3月21日(木・祝)、当社2018年12月期定時株主総会を東京都渋谷区セルリアンタワー東急ホテルにて開催いたしました。当日は1,000名を超える株主の皆様にご来場いただき、誠にありがとうございました。本年も休日開催となり、株主様と直接お話をさせていただく貴重な機会となりました。今後も多くの株主の皆様にご参加いただけるよう、当社ならではの株主総会を目指してまいります。



● 9:00 開場

● 10:00 株主総会開始

グループ代表の熊谷が議長となり議事を進行いたしました。



● 10:40 質疑応答 8名

議案及び、取締役の選任、グループ経営、弊社提供サービスに関して多岐にわたるご質問を頂戴し、熊谷ならびに担当役員より回答させていただきました。



● 11:50 採決

上程された全議案に対し、原案通り承認いただきました。

● 11:55 役員挨拶

役員一人一人から、直接株主の皆様にご挨拶させていただきました。



● 12:00 閉会

定時株主総会開催のご報告

2019年3月21日(木・祝)、セルリアンタワー東急ホテル(東京都渋谷区)において、第28期定時株主総会を開催しました。

- | | |
|-------|----------------------------|
| 第1号議案 | 定款の一部変更の件 |
| 第2号議案 | 取締役(監査等委員であるものを除く。)15名選任の件 |

この結果、当期の役員構成は以下のとおりとなりました。

代表取締役会長 兼 社長 グループ代表	熊谷 正寿	取締役	児玉 公宏
		取締役	中條 一郎
取締役副社長	安田 昌史	取締役	橋口 誠
取締役副社長	西山 裕之	取締役	福井 敦子
取締役副社長	相浦 一成	取締役	金子 岳人
専務取締役	伊藤 正	取締役	林 泰生
専務取締役	山下 浩史	取締役(監査等委員)	武藤 昌弘
常務取締役	堀内 敏明	取締役(監査等委員)	小倉 啓吾
常務取締役	有澤 克己	取締役(監査等委員)	郡司掛 孝
取締役	新井 輝洋	取締役(監査等委員)	増田 要

株主さま向けインフォメーション

お問い合わせ先

- 株主優待はこちら(GMOインターネット株式会社 株主優待事務局)

専用ホームページ <https://yutai.gmo.jp/>

お問い合わせ先 03-3461-2222

(受付時間: 土日祝祭日及び会社休業日を除く平日10:00~18:00)

- 株式事務手続きはこちら(三菱UFJ信託銀行株式会社)

0120-232-711(東京) 0120-094-777(大阪)

- 上記電話番号がご利用できない場合

042-204-0303(通話料有料)

(受付時間: 土日祝祭日等を除く平日9:00~17:00)